

学校だより

【学校教育目標】「考え つながり 学び続ける子」

弘道小学校ブログ<http://koudoues.blog.fc2.com>

週1~2回更新中。
ぜひご覧下さい。



文責 内海忠裕

令和6年9月2日

プラスの言葉で自分を創る、未来を創る

「ありがとうございます」「感謝します」「うれしいなあ」「素敵だね」「かっこいいよ」そんな良い言葉を使う時はだいたい気分がよく、気持ちが前向きな時です。前向きな言葉、プラスの言葉を使う人は、努力家で、プラスのエネルギーに満ちているので、自然と周りの人から好かれ、同じプラスのエネルギーを持った人が集まってきます。よい言葉は自分を創り、未来を創るといわれます。

2学期が始まり、子どもたちは学校生活が始まる楽しみや、仲間と過ごせる喜びを感じてくれているのではないかと思います。子どもも教師も、よい言葉、プラスの言葉を交わし、明るく元気で、活気にあふれた弘道小学校を創っていきます。

今学期も保護者、地域の皆様と一緒に教育活動に取り組み、子どもたちが毎日楽しく、安心して過ごしていけるよう努めていきます。学校運営協議会の皆様をはじめ、多くのボランティアの皆様、保護者、地域の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

★第2回学校運営協議会開催★

8/20に第2回学校運営協議会を開催しました。学校評価アンケート（保護者・教員）、弘道小学校アンケートなどをもとに、教育活動について報告し、委員の皆様からご意見をいただきました。『つながる、広がる、出石大好きっ子』を合言葉に、地域とともにある学校づくりを進めています。

●夏休み作品展を廃止します●

今年から、夏休みの子どもの負担を考慮し、図工や書写、読書感想文などの課題を選択制にしました。また各コンクールの作品提出期間が9月上旬に集中しており、出品後、掲示する作品が少ないなどの理由により、作品展を廃止することとしました。楽しみにして下さっていた保護者の皆様、どうぞご理解いただきますようお願いいたします。

◆新しいALTの先生紹介◆

2学期から外国語指導助手（ALT）の先生が変わります。

退職 メイソン・エマ・リー・テイラー先生



着任 タナカ・マリサ・レイコ先生

子どもたちには「マリサ先生」と紹介します。1日も早く子どもたちと仲良くなって、学校に慣れてほしいと思います。

■夏休み学習教室■

～学習支援ボランティア～

夏休み中4日間、学習支援ボランティアによる学習教室が開かれました。1～3年生12名の子どもたちが、宿題したり、お話ししたりして楽しく過ごしました。



↑ 学習する子どもたち

【運動会の開催について】

保護者の皆様の疑問に Q&A でお答えします。

Q1 「どうして半日開催なのですか？」

A1 コロナ禍の運動会では、三密を避け感染予防対策を徹底しながら、運動会で高めたい子どもの力を議論しました。『安心安全な運動会』を最優先に、目標を立て、種目を選定しました。当初は感染防止を最大限配慮して行いましたが、近年熱中症の危険度も高まってきたことから、半日開催が最良であると学校として判断しました。半日開催してみると、子どもにとって良いことがありました。

- ①ねらいを絞った種目で、ゆとりをもって（休憩をはさみながら）当日参加でき、かつ、熱中症のリスクも回避することができました。とりわけ、小学生が、午前中3時間、午後2時間、テントがあるとはいえ、30度を超える炎天下で参加・応援・観戦することは、もはや現実的ではないと考えています。
- ②半日開催でも、めざす力（やり抜く力・自制心・協働性等）の育成には十分であると判断しました。保護者の感想にも、短く効率的な練習と子どもたちの取り組む姿に一定の評価をいただいています。短い練習期間も含めて、子どもの体力的負担も軽減できました。
- ③運動会は子どもが主役の行事であるため、PTA 演技や、親子演技は、半日開催の枠では見送られることとなりました。
- ④運動会練習期間は約10日間。その間も熱中症の危険があることから1日1～2時間程度に練習を抑える必要があります。そうすると、今までの様な種目数が練習できず、種目が限られることとなり、優先順位を決めて半日に収めることとなりました。（徒競走又はリレー・団体競技・ダンス表現+開閉会式等簡素化）

Q2 「親子演技や PTA 演技はないのですか？」

A2 運動会の目的に沿って、種目を決め、練習計画を立てます。あわせて、前述のように、時間枠が決まっているので、優先順位をつけて種目を選定します。子どもが、普段の体育の学習成果を発揮したり、運動会に向けた練習の成果を発揮したりすることを最優先に、前年度から種目を決定しています。あわせて、入場行進の廃止や開閉会式の簡素化にも取り組み、演技時間の確保に努めています。運動会で6年生親子のふれあいの場を持つことは、運動会本来の趣旨に対して優先順位は低いものと判断し、半日開催の枠では実施していません。

Q3 「入場の制限はありますか？」

A3 コロナが第5類になってからは、制限はありません。

Q4 「子どもの演技をもっと近くで撮影したいのですが。」

A4 観覧席としてのテントを設置していただいています。トラック外側のロープとの間で撮影してください。なお、お子様の出番が終わられましたら、次の方のために、場所をあけてください。本部テント前や高齢者テント前での撮影はご遠慮ください。（各学年のダンスや表現など、特別な場合は場内アナウンスで撮影場所をお知らせします。）

Q5 「熱中症対策（暑さ対策）はどうされていますか。」

A5 児童席にテントを立てたり、入退場門付近に大型扇風機を設置したりしています。また、こまめに水分補給したり、体調が悪い場合はすぐに教師に知らせたりするなど指導しています。さらに、午前中開催にして子どもの体力に合わせて熱中症を回避しながら開催しています。加えて、途中に20分の休憩時間を取り、冷房の良く効いた教室で十分にクールダウンさせています。練習期間中も毎日暑さ指数を計測し、10～15分おきに給水と休憩を取り入れるなど、児童の状況を十分に配慮しながら練習を進めています。保護者にも、十分な睡眠や食事、休養をお願いしています。

Q6 「開催時期を5月等春先に変更されないのですか。」

A6 5月は自然学校や修学旅行の時期と重なり開催は困難です、しかも5～6月はまだ暑さに子どもの体が慣れていないので、熱中症のリスクは高い状態であると判断しています。弘道地区では、10月は地域行事も多くあり、開催の調整は困難です。そうした状況を総合的に判断し、昨年度から1週間遅らせて9月第3週目の土曜日開催としました。